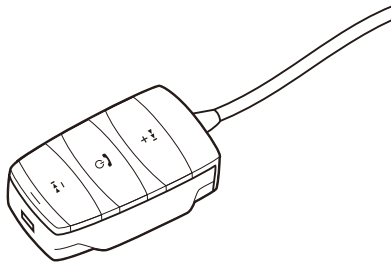
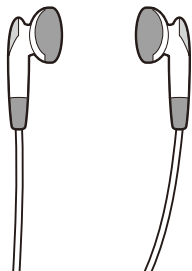


Logitech

LBT-HS200C2 V01

Bluetooth対応
クリップタイプ ワイヤレス ステレオヘッドセット
ユーザーズマニュアル



デバイス名	LBT-HS200C2
パスキー	0000



ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本書では、本製品の使用方法や仕様についてご説明いたします。ご使用前に必ずお読みいただき、読み終わった後もいつでも参照できるように大切に保管しておいてください。

ご注意

- ① 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
- ② 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- ③ 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- ⑤ 本製品の仕様、デザインおよび本書の内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。



- ⑥ 本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- ⑦ 弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑧ 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑨ 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

商標に関する注意

Windows Media Player は米国 Microsoft Corporation の商標です。

Bluetooth[®] は Bluetooth SIG の商標です。

その他本書に記載されている機器の名称などは各社の商標または登録商標です。



目次

安全上の注意.....	6
1 はじめに.....	15
1-1 同梱品の確認.....	17
1-2 使用環境について.....	17
1-3 各部の名称と機能.....	18
1-4 コントローラーの機能について.....	20
2 お使いになる前に.....	23
2-1 充電方法.....	23
3 ご使用方法.....	25
3-1 ペアリングについて.....	26
3-2 ペアリング方法.....	26
3-3 ステレオヘッドセットの装着方法について.....	30
3-4 ステレオヘッドセットのリセット機能について.....	31



4	携帯電話とのご使用について.....	32
4-1	使用可能な携帯電話の種類.....	32
4-2	携帯電話での使用方法	34
5	携帯型音楽プレーヤーとのご使用について	39
6	パソコンおよび PDA での利用について	41
6-1	パソコンおよび PDA での使用方法	41
7	FAQ (よくある質問)	44
8	ハードウェア仕様	48
9	お問い合わせについて.....	51

安全上の注意



警告

万一、異常が発生したときは ...



本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切ってください。また、充電中の場合は、USB 充電ケーブルを USB ポートから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

弊社指定の物以外を使用してステレオヘッドセットの充電を行わないでください。



ステレオヘッドセットのコントローラーは内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると、発火の危険性があります。充電は本書で指定する方法で行ってください。注意事項をお守りにならない場合、バッテリーの寿命が著しく短くなる場合があります。

高温のまま放置しないでください。



本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用、保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



ステレオヘッドセットの充電が終わったら、必ず充電用ケーブルを取り外してください。



また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えて USB 充電ケーブルを取り外してください。

所定の充電時間を超えて充電を行った場合、内部電池が発熱、発火、破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

音量の設定には十分気をつけてください。



ステレオヘッドセットの音量は最小から徐々に音を上げ、適切な音量に調整してください。

分解しないでください。



本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造、分解をしないでください。感電、火災、やけどの原因となります。

※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。



本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。また、充電時に濡れた手で AC アダプタを触ると、感電の原因となりますのでおやめください。





小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。

誤飲など、思わぬ事故を招く場合があります。



病院内や航空機の中などでは使用しないでください。

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。また、まれに自動ドアや火災報知器などの自動制御装置に電波が干渉し、誤動作を招く場合があります。



充電用ケーブルの接続端子や本製品の電源コネクタ等の金属部分に触れないでください。

静電気や汚れなどにより、故障、感電の原因となります。



自動車運転時には使用しないでください。

自動車の運転中にステレオヘッドセットを使用しないでください。また、歩行中等でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。





注意



大きな音で長時間音を聞き続けないようにしてください。

ステレオヘッドセットで長時間にわたり大きな音を聞き続けると、聴覚に悪影響を及ぼす可能性があります。適切に音量を調整し、長い時間聞きすぎないようにご注意ください。

また、大音量で音楽を再生すると音が漏れ、周囲の人の迷惑となる場合もあります。十分ご注意ください。



充電には付属の USB 充電ケーブルを使用してください。

付属の USB 充電ケーブル以外での充電は絶対におやめください。

火災、故障の原因となります。

また、USB 充電ケーブルはパソコンなどの USB ポートへ直接接続してください。ハブ経由での充電は、バスパワー不足により十分な電力を得られないことがあります。



衝撃や振動のある場所では使用しないでください。

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用、保管は避けてください。



周囲の機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。



本製品は 2.4GHz 帯の ISM バンドをワイヤレス転送に使用しています。この周波数帯では無線免許を必要としない機器が一定の条件下でさまざまな形で使用されています。そのため、使用する場所より、周囲の機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

装着時に違和感がある場合は使用を中止してください。



かゆみやヒリヒリ感が出るなど、お肌に合わないと感じられた場合は使用を中止し、必要に応じて医師などにご相談ください。

心臓ペースメーカーなどをお使いの場合は使用しないでください。



本製品を心臓ペースメーカーと併用できるかどうかについては、ペースメーカーの製造元やかかりつけの医師に相談の上、安全が確認された場合のみ使用してください。

充電中はステレオヘッドセットの周りに物を置かないでください。



発熱、発火、火災、やけどの原因となります。





ご使用にならないときは電源を OFF にしてください。

本製品は待ち受け中も電力を消費します。長期間電源が ON のまま放置しておくと、実際の通話時に電池切れを起こす場合があります。



ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。



定期的に充電を行ってください。

ステレオヘッドセットは長期間使用しない場合でも、1 か月に 1 度を目安に充電を行ってください。



ラジオやテレビの近くで使用しないでください。

ラジオやテレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。





日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証できません。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。



本製品を廃棄する場合

ステレオヘッドセットのコントローラーは内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

お問い合わせ先については、本書巻末をご参照ください。



電波に関する注意事項

本製品は 2.4GHz 帯の無線電波を使用しています。

本製品が通信時に使用する 2.4GHz 帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。

- ・ 産業、科学、医療用機器
- ・ 電子レンジなどの加熱装置
- ・ 工場の製造ライン等で使用される

移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）

特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に使用しないでください。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないでください。電波干渉が発生します。
- 本製品をご使用の前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品とそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 電波干渉が起こると、通信ができなくなったり、正常に相手の声が聞こえない、自分の声が伝わらないなどの現象が起こる場合があります。そのような場合は直ちに本製品の使用をおやめください。



その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。（弊社テクニカルサポートの連絡先については、本書巻末をご参照ください）

使用周波数帯域	: 2.4GHz
変調方式	: 周波数拡散方式 FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離	: 約 10m (障害物のない場合)
周波数変更の可否	: 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能



1 はじめに

本製品は、Bluetooth ワイヤレス技術を使用したハンズフリー通話対応のワイヤレスオーディオステレオヘッドセットです。

Bluetooth のオーディオプロファイル (A2DP) に対応した Bluetooth オーディオトランスミッターを装着した携帯型音楽プレーヤー等と組み合わせ、音楽をワイヤレスにお楽しみいただけます。

ステレオヘッドセットは AVRCP (Audio Video Remote Control) プロファイルに対応していますので、携帯型音楽プレーヤーなどの送信側ユニットが同プロファイルに対応していれば、音楽ファイルの再生やスキップなどの操作をステレオヘッドセット側で行うことが可能です。

また、ご使用の携帯電話が Bluetooth のハンズフリー通話に対応していれば、本製品を使用して携帯電話の待ち受け、ハンズフリーでの通話が可能です。





ご注意

- 携帯電話でのハンズフリー通話には、携帯電話側が HSP (Head Set Profile) または、HFP (Hands-free Profile) をサポートしている必要があります。
- 携帯電話の機種や、パソコンの Bluetooth ソフトウェアによっては、通話後に Bluetooth 接続を自動的に解放しないものがあります。このタイプの携帯電話と Bluetooth トランスミッターを取り付けた携帯型音楽プレーヤーを併用してご使用の場合、音楽再生への切り替えに失敗する場合があります。このような場合は、いったんすべて携帯電話とステレオヘッドセットの電源を OFF にした後に、ステレオヘッドセットの電源を入れなおしてみてください。
- パソコンで使用する場合は、パソコン側が Bluetooth の A2DP、AVCRP、HSP または HFP の各プロファイルをサポートしている必要があります。



1-1 同梱品の確認

本製品には、以下のものが含まれています。

- ステレオヘッドセット本体
- イヤホン
- 充電用 USB ケーブル
- ユーザーズマニュアル（保証書含む）（本書）

※ 本製品の充電は、付属の USB 充電ケーブルを使用してパソコンの USB ポートから行います。充電には付属のケーブル以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

1-2 使用環境について

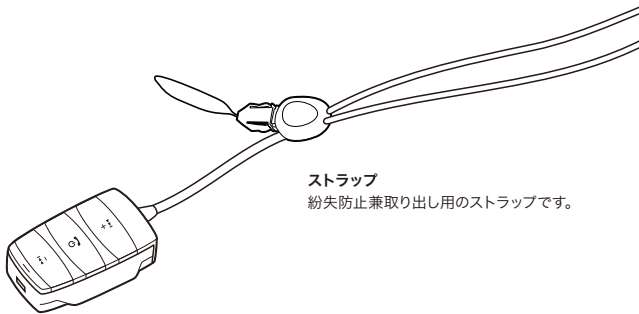
本製品は、Bluetooth の A2DP、AVRCP、HSP、HFP の各プロファイルに対応した携帯電話、オーディオトランスミッター機能付き携帯型音楽プレーヤー、パソコン、PDA などと組み合わせて使用することができます。

機器同士の登録方法や使用方法は、接続先の機器により異なります。それぞれの機器と組み合わせた使用方法については、本製品のペアリング方法をご確認後、機器に付属の取扱説明書等をご確認ください。



1-3 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能は、次のとおりです。



ストラップ

紛失防止兼取り出し用のストラップです。

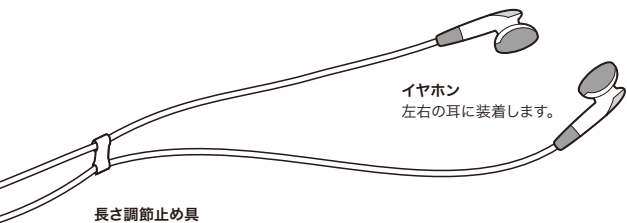
コントローラー

電源のON/OFF、ペアリング、着信応答、回線の切り替え、音量の調節、音楽の再生、一時停止などの操作を行います。

詳しくは、「1-4 操作ボタンの機能について」をご参照ください。

※これらの音楽プレーヤー側の操作を制御するには、プレーヤー側がAVRCP (Audio Video Remote Control Profile) に対応している必要があります。





イヤホン

左右の耳に装着します。

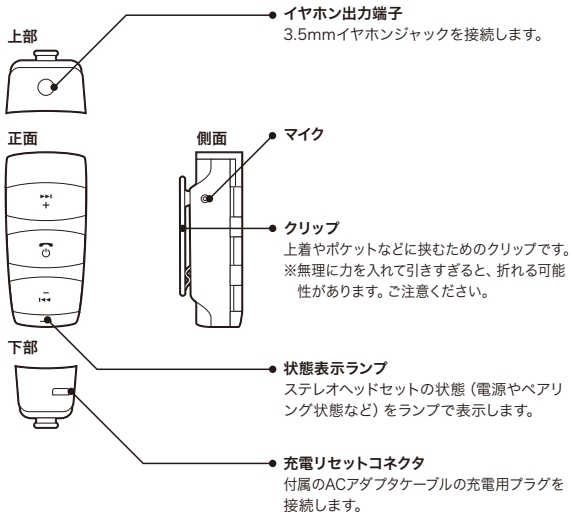
長さ調節止め具

スライドしてイヤホンコードの長さを調節します。



1-4 コントローラーの機能について




コントローラーには、各種操作を行うための機能ボタンが搭載されています。ここでは、各ボタンの機能についてご説明します。



操作ボタンの機能

機能		使用ボタン		状態表示ランプ
共通	電源 ON/		3 秒以上長押し	青色に点灯 後点滅
	電源 OFF		5 秒以上長押し	オレンジ色に 3 回点滅
	ペアリング		電源が OFF の状態から 7 秒 以上長押し	青色が短く 点滅
	音量大 ^{※1}	+ / 	1 秒以内で 1 回押す	—
	音量小 ^{※1}	- / 	1 秒以内で 1 回押す	—
音楽 ※2	再生		1 秒以内で 1 回押す	—
	一時停止		1 秒以内で 1 回押す	—
	停止		0.5 秒以内に 2 回押す	—
	次へ	+ / 	2 秒以上長押し	—
	前へ	- / 	2 秒以上長押し	—
通話 ※3	着信応答		1 秒以内で 1 回押す	—
	終話		1 秒以内で 1 回押す	—



通話 ※ 3	着信拒否		着信時に 2 秒間押す	—
	リダイヤル	+ /  または - / 	0.5 秒以内に 2 回押す	—
バッテリー残量低下				(青)・オレンジ・紫に交互に点滅

- ※ 1 ポリウム調整は、音楽プレーヤーや携帯電話側の出力音声の調整でも可能です。音が割れて聞こえる場合や、音が小さすぎる場合などは、プレーヤー側の出力レベルも同時に調整してみてください。
- ※ 2 本機能は、音楽プレーヤー側が AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) 機能に対応している必要があります。
- ※ 3 携帯電話でのハンズフリー通話には、携帯電話側が HSP (Head Set Profile) または、HFP (Hands-free Profile) をサポートしている必要があります。
また、携帯電話によっては、通話後に Bluetooth 接続を自動的に解放しないものがあります。このタイプの携帯電話をご使用の場合は、ステレオヘッドセットの接続切り替えに失敗する場合があります。



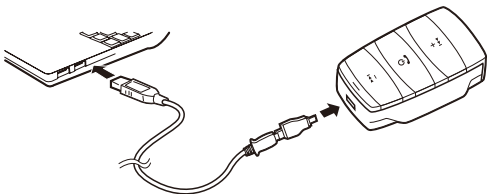
2 お使いになる前に

充電を行う

本製品は、ご使用になる前にステレオヘッドセットを充電する必要があります。
充電には付属の USB 充電ケーブルを使用します。

2-1 充電方法

AC アダプタケーブルのプラグ部分をコンセントに接続し、ケーブルの先にある充電用プラグをステレオヘッドセットのコントローラーの充電コネクタに接続します。コントローラーの状態表示ランプがオレンジ色に点灯します。



※ はじめてバッテリーを満充電するときは、約 3 時間ほどかかります。その後の充電は、約 2 時間です。

充電が完了すると、状態表示ランプが消灯します。

※ 1 回の充電で約 4 時間の連続再生が可能です。



ご注意

- 充電には、付属の USB 充電ケーブル以外を使用しないでください。火災、感電防止のため、充電は水または湿気のない場所で行ってください。故障の原因となります。
- 充電する前に電源を OFF にします。



ポイント

ステレオヘッドセットのバッテリー残量が少なくなると、状態表示ランプが青・オレンジ・紫に点滅します。この状態になったら、再度充電を行ってください。



3 ご使用方法

本製品は、Bluetooth のオーディオプロファイル (A2DP) やハンズフリープロファイル (HSP,HFP) を搭載している機器 (または同プロファイルを搭載したトランスミッターを接続した機器) であれば、どんな機器とでもワイヤレスに通信を行うことが可能です。

また、複数の機器とペアリングを行っておき、機能を切り替えて使用することも可能です。そのため、Bluetooth 対応の音楽プレーヤーで音楽を聞きながら Bluetooth 機能搭載の携帯電話で通話待ち受けをし、電話がかかってきたらハンズフリー通話に切り替え、通話後にまた音楽を聴くといった使い方が可能です。

そのほかにも、パソコンなどでボイスチャットをしながら、携帯電話の待ち受けといった使い方も可能です。

ここでは、通信先の機器とのペアリング (通信を行う機器同士で相互認証を行う作業) 方法、機能の切り替え方法について説明します。各機器との具体的な使用方法については、使用する機器の取扱説明書等をご参照ください。



3-1 ペアリングについて

ペアリングとは、Bluetooth 機能搭載の機器同士が、お互いの機器を通信相手として認証し合う手順のことをいいます。

この手順を行わないと、通信相手の機器との間で信号の受け渡しを開始できないため通信ができません。必ずはじめにペアリングを行ってください。

3-2 ペアリング方法

Bluetooth 対応の機器とペアリングを行うには、本製品をペアリングモードにしておく必要があります。




ご注意



ペアリングは、本製品の電源を OFF にした状態から始めます。



手順については、以下をご参照ください。

- 1 状態表示ランプが青色とオレンジ色に交互に点滅するまで、Bluetooth のステレオヘッドセットのコントローラーの  ボタンを押します。これで、ペアリングモードに入ります。

- 2 後は、通信相手の Bluetooth 機器で必要な設定を行います。
※ 設定方法については、ご使用の機器の取扱説明書等をご参照ください。

- 3 ペアリング状態になると、状態表示ランプが短く青色とオレンジ色に点滅します。
※ 60 秒以内にペアリングが有効にならなかった場合は、電源を切り再度ペアリングを行ってください。





ポイント：ペアリング相手側機器の設定について

- ペアリング方法は通信相手の機器により方法が異なります。詳しくはご使用の機器やソフトウェアに付属の取扱説明書をご参照ください。

ここでは一例として、一般的に使用される次の2つのパターンをご紹介します。

● Bluetooth トランスミッターとペアリングする場合

Bluetooth 機能のない携帯電話や音楽プレーヤーからの音声を転送するために Bluetooth トランスミッター等を使用している場合は、Bluetooth トランスミッターをペアリングモードにし、本製品に近づけると、自動的にペアリングが完了します。

● Bluetooth 機能が付いている携帯電話や、パソコンなどとペアリングする場合

この場合は、本製品をペアリングモードにした後に携帯電話やパソコン側、PDA 等で Bluetooth の設定画面から検索し、登録します。

- パソコンや携帯電話側で本製品を検索すると、本製品は「LBT-HS200C2」というデバイス名で検出されるので、これを選択し機器側で登録（認証）します。



登録（認証）時は「パスキー」（※）を入力するダイアログボックスが表示されるので、「0000」（数字のゼロを半角で4回）と入力します。

※「認証コード」「PIN」ボタンなど表示される場合もあります。これはご使用になる機器により異なります。

※ 使用パターンは一般的な例ですので、通信先の機器によっては設定方法が異なる可能性もあります。機器側の取扱説明書もご参照のうえ設定を行ってください。

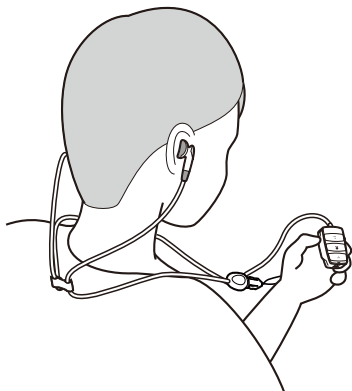
※ パソコンや PDA などと接続したとき、オーディオ出力先のデバイスをご自分で変更しなければならない場合があります。このような場合は、パソコン、PDA 等で使用している Bluetooth ソフトウェアの取扱説明書などをご参照のうえ、出力デバイスの設定変更を行ってください。

※ 携帯電話とのペアリング方法については、弊社 Web (<http://www.logitech.co.jp/>) サイトでもご紹介しています。



3-3 ステレオヘッドセットの装着方法について

ステレオヘッドセットは、輪の部分に首にかけ、イヤホンを左右の耳に装着します。コントローラーはクリップで上着やポケット等に挟みます。



3-4 ステレオヘッドセットのリセット機能について

予期しない接続などで、ステレオヘッドセットと機器との通信が正しく行われなくなってしまった場合は、本製品をいったんリセットして再度設定をし直すことができます。

手順については、以下をご参照ください。

- 1 付属の USB 充電ケーブルをパソコン等の USB ポートに接続し、本製品の充電コネクタに接続します。
充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。

- 2 1 秒以上点灯状態を確認後、本体から引き抜いてください。

この後は、接続したい機器と再度ペアリングを行ってください。



4 携帯電話とのご使用について

ステレオヘッドセットと携帯電話との接続について説明します。

4-1 使用可能な携帯電話の種類

本製品を使用可能な携帯電話は、次の 2 種類があります。

- ① Bluetooth でのオーディオ・ハンズフリー通話の両方に対応した携帯電話
このタイプの携帯電話では、1 台でオーディオと通話両方をお楽しみいただけます。
- ② Bluetooth でのハンズフリー通話のみ可能な携帯電話
このタイプの携帯電話をご使用の場合は、本製品を使用してハンズフリー通話を行うことができます。





ご注意

- 携帯電話によっては特殊なプログラムを使用し、本製品では通話機能と音楽機能を使用できないものもあります。
- 本製品を使用可能かどうかにつきましては弊社 Web サイトをご参照になるか、またはご使用の携帯電話の製造メーカーへお問い合わせください。



参考

Bluetooth 機能を持たない場合でも市販の携帯電話用 Bluetooth トランスミッターを装着してハンズフリー通話が可能なおもあります。



4-2 携帯電話での使用方法

ご使用前に、本製品と携帯電話をペアリングしておいてください。
ペアリング方法については「3-2 ペアリング方法」をご参照ください。



ポイント

- 携帯電話がハンズフリー通話に対応している場合は、接続可能な状態に設定してください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品は携帯電話から検索をすると「LBT-HS200C2」と表示されます。
- 認証コード（パスキー等）入力時は「0000」（数字のゼロを半角で4回）と入力します。


ペアリング完了後は、次のように（次ページ以降参照）ご使用になれます。

※ ペアリング先の携帯電話により、再度設定が必要になる場合があります。



着信応答

着信があった場合、コントローラーからピープ音が聞こえます。これは音楽再生中でも同じです。着メロ等、携帯電話側の設定音は反映されません。

コントローラーの  を 1 回押すと、携帯電話での通話に切り替わります。



ポイント

◇◇◇ 携帯電話や PDA が最優先の接続先になるので、音楽を聞いていた場合は音量が 0 になり、通話が完了すると音量が元に戻ります。




発信

発信の操作は携帯電話本体を使用します。発信後、コントローラーにコール音が転送されます。




ポイント



ご使用の携帯電話の種類によっては  に、ボスダイヤリング機能やリダイヤルが割り当てられている場合もあります。詳しくは、ご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

ただし、これらの機能は他の音楽プレイヤーと併用している場合には使用できません。


電話を切る（終話）

通話が終わったら、コントローラー側の  を押して電話を切ります。携帯型プレイヤーなどで音楽再生中に通話を行っていた場合は、音楽再生に戻ります。






ポイント

- 通話中は Bluetooth 接続のプロファイルが音楽再生 (A2DP) から (HSP または HFP) へと切り替わり、終話後はまた音楽再生に戻ります。
- プレーヤー側が AVRCP プロファイルに対応している場合は、通話中は音楽再生は一時停止の状態待ち受けをし、通話終了後は元の場所から再生されます。再生が始まらない場合は、 ボタンを 1 回押してください。
- プレーヤー側が AVRCP プロファイルに対応していない場合は、通話中も音楽再生が進んでいるので、通話終了後は別の場所から音楽の再生が始まります。



電話に出たくない場合（着信拒否）

音楽再生中に着信があったときに、携帯電話に出たくない場合は、コントローラーの  ボタンを着信時に約 2 秒間押します。ステレオヘッドセットからピープ音が 1 回聞こえれば着信を受けずに音楽再生が続きます。



ご注意

- 携帯電話が Bluetooth の HSP または HFP をサポートしていない場合は、ハンズフリー通話は行えません。
- 携帯電話の機種によっては、通話後に Bluetooth 接続を自動的に解放しないものがあります。このタイプの携帯電話と本製品を併用してご使用の場合、オーディオ再生への切り替えに失敗する場合があります。このような場合は、いったん携帯電話とステレオヘッドセットの電源を OFF にした後に、ステレオヘッドセットの電源を入れなおしてみてください。
- 携帯電話の機種により、ステレオヘッドセットのコントローラーのボタンに異なる機能が割り当てられている場合があります。
- ステレオヘッドセットと携帯電話の距離が離れすぎたり、間に金属の遮断物がある場合、通話が途切れたりノイズが発生する場合があります。



5 携帯型音楽プレーヤーとのご使用について

ご使用の携帯型音楽プレーヤーに市販の Bluetooth オーディオトランスミッターを接続して、本製品でワイヤレスに音楽をお楽しみいただけます。

オーディオトランスミッターには、AVRCP に対応しているものと非対応のもの 2 種類があります。

- AVRCP に対応した Bluetooth トランスミッターをご使用の場合、ステレオヘッドセットのコントローラーで再生、停止、音量調整等の各種操作が可能です。
- オーディオトランスミッター側が AVRCP に対応していない場合、音楽の再生時にはステレオヘッドセットのコントローラーでは音量調整のみ可能です。再生、停止等の操作は音楽プレーヤー側で行ってください。





ご注意

- AVRCP 非対応のオーディオトランスミッターをご使用の場合、ステレオヘッドセットの電源を OFF にすると音声は聞こえなくなりますが、音楽プレーヤー側は電源がついたまま、再生が続いています。この場合は、プレーヤー側で電源をお切りください。
- ステレオヘッドセットとオーディオトランスミッターの距離が離れすぎたり、間に金属の遮断物がある場合、通話が途切れたりノイズが発生する場合があります。
- 本製品は SCMS-T 方式などの著作権保護機能には対応しておりません。A2DP での通信にこれらの機能を付加したトランスミッターからの音声の受信はできません。



6 パソコンおよび PDA での利用について

パソコンや PDA 本体に Bluetooth 通信機能が内蔵されている場合、または Bluetooth アダプタを接続して通信が可能な場合、本製品を使用してインターネットのボイスチャットやスカイプ通話、アプリケーションを使用しての音楽再生が可能です。

6-1 パソコンおよび PDA での使用方法

通信を行う際は、本製品をペアリングモードにしてからパソコンや PDA 側の Bluetooth 用ソフトウェアで本製品を登録し、OS 側から Bluetooth がデフォルトのオーディオ出力デバイスとして設定されていることを確認してください（Windows 環境の場合は「コントロールパネル」から「サウンドとオーディオデバイス」を選択し、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで確認できます。ここでデフォルトのデバイス名に「Bluetooth AV/HS Audio」「Bluetooth High Quality Audio」等と表示されていることをご確認ください）。





ポイント

- PDA がハンズフリー通話に対応している場合は、接続可能な状態に設定してください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご参照ください。



ご注意

- Bluetooth 機器と、パソコンや PDA とのペアリング方法はご使用のパソコンや PDA により異なります。詳しくはご使用の OS やソフトウェアのヘルプファイルまたは Bluetooth アダプタの取扱説明書をご参照ください。
- ソフトウェアが A2DP や AVRCP に対応していない場合、音楽の再生音はステレオヘッドセットで聞くことはできません。また、AVRCP 機能は、Bluetooth ソフトウェアのバージョンや、音楽再生プレイヤーとの組み合わせにより、正しく機能しない場合があります。
- パソコンや PDA が複数の Bluetooth 機器と接続をしている場合は、音楽や通話音が途切れて聞こえる場合があります。本製品はこれらのパソコンや PDA と接続する場合、他の Bluetooth 対応



7 FAQ (よくある質問)

ここでは、お客様から寄せられるよくあるご質問とその答えについて記載します。

Q オーディオトランスミッターとペアリングができません。

A この場合以下のことをお試しください。

- ① 複数機器とペアリング状態になっているときは、いったん他の機器とのペアリングを解除します。
ステレオヘッドセットの電源を切り、再度電源を入れてからオーディオトランスミッターとペアリングを行ってみてください。電源を入れると他の機器と優先してペアリングを行ってしまう場合は、その機器の電源を切るか、その機器から離れた場所でオーディオトランスミッターとステレオヘッドセットのペアリングを行ってください。
それでもだめな場合は、ステレオヘッドセットをリセットして、再度ペアリングをしてください。初期化方法については「3-4 ステレオヘッドセットのリセット機能について」をご参照ください。
- ② ステレオヘッドセットやトランスミッター、音楽プレーヤーのバッテリー残量を確認して残量が少ない場合は、充電して再度お試しください。



- ③ ペアリングを行う際に、先にステレオヘッドセットをペアリングモードにし、その後にオーディオトランスミッターをペアリングモードにします。

Q イヤホンからの音質が悪いようなのですが？

A ご使用の Bluetooth トランスミッターの搭載プロファイルをご確認ください。HSP や HFP しか対応していない場合、オーディオ再生時の音声が悪化して伝わります。

Q 再生音の音質を改善させたいのですが？

A この場合、以下のことをお試しください。

- ① パソコンなどで使用している場合、複数の Bluetooth プロファイルを同時に使用していると使用帯域幅の制限を受け、音質が悪化します。
音楽再生以外の Bluetooth 機能を OFF にしてお試しください。
- ② まれに 2.4GHz 帯を使用している無線機器の近くで使用していると、電波干渉が起こる場合があります。機器同士の干渉を避けるため、同一周波数帯域を使用している機器とは距離を置いてご使用ください。
- ③ オーディオ機器と離れすぎている場合や金属製の遮蔽物がある場合、ワイヤレス転送が正常に行われない場合があります。



機器同士は適切な距離を保ち、中間に金属物質による遮蔽物を設けないようにしてください。

- ④ バッテリー残量が少ない場合等にノイズが発生することがあります。いったんステレオヘッドセットの電源を OFF にして再度電源を入れなおすと音質が改善される場合があります。また、バッテリーが少ない場合は充電をしてからご使用になることをお勧めします。
- ⑤ 雑踏や交通量の多い所等では、複数の機器が本製品も使用している 2.4GHz 帯を使用し、結果として電波干渉が発生する場合があります。
このような場合はいったん本製品の使用を中止して、しばらく経ってから再度お試しください。

ⓐ 通話終了後に、音楽再生（携帯型プレーヤーなど）に切り替わりません。

A ご使用の携帯電話によっては、通話機能（HSP/HFP）から音楽再生（A2DP）への切り替えに時間がかかる場合があるので、しばらく待って様子を見てください。また、ご使用の携帯電話によっては Bluetooth 接続を自動的に解除しないものもあります。その場合は、いったん携帯電話とステレオヘッドセットの電源を切り、先にステレオヘッドセットの電源を入れなおします。



Q 着メロが鳴りません。

A 本製品への転送音は、ピープ音となり、着メロ等、携帯電話側の設定は反映されません。

Q Bluetooth マウスがうまく動きません。

A 複数の Bluetooth 機器を併用して使用すると使用帯域幅に制限を受け、このような症状が現れる場合があります。
使用する Bluetooth 機器を減らしてお試しください。

Q パソコンでチャット中に以前ペアリングしていた Bluetooth 携帯電話からの着信音が転送され、ピープ音が鳴ります。

A その Bluetooth 携帯電話とのペアリング状態が維持されていたため、このような現象が起こります。
携帯電話の Bluetooth 機能を OFF にしてご使用ください。



8 ハードウェア仕様

機種名		LBT-HS200C2
サウンド 関連	周波数特性	20 Hz ~ 20,000Hz
	サンプリングレート	48KHz、16bit
	SPL (音圧レベル)	105dB per 1KHz
	THD (全高調波歪)	0.5%
	SN 比	85dB
Bluetooth	バージョン	Bluetooth v 1.2 準拠
	対応プロファイル	A2DP, AVRCP, HSP, HFP
	接続切り替え	HSP または HFP 1 デバイス、A2DP 1 デバイス ^{※1}
	オーディオ	SBC
電波関連	キャリア周波数	2.4 ~ 2.483 GHz
	周波数拡散方式	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
	変調方式	GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying)
	電波到達範囲	Class II 3m ~ 10m ^{※2}



環境条件 ^{※3}	動作時	温度	-5°C ~ 35°C
		相対湿度	20 ~ 80%
	保管時	温度	-10°C ~ 40°C
		相対湿度	10 ~ 90%
消費電力			222 mW
入力電圧			3.7 V / 300 mA
待ち受け時間			約 65 時間
連続通話時間 ^{※4}			約 5 時間 (HSP)
連続再生時間 (A2DP) ^{※4}			約 4 時間
音楽再生時間			3 ~ 4 時間
外形寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)			21×16×46 mm ^{※5}
質量			10g ^{※6}

※1 接続する機器は1度に2台(2プロファイル)までとしてください。いずれの場合も接続先の機器がBluetoothプロファイルに対応している必要があります。

※2 理論値。周囲の環境および接続機器により異なります。

※3 結露がないことが条件です。

※4 接続先の機器や周囲の環境、出力レベルなどにより異なります。

※5 本体のみ。

※6 バッテリーを含みます。

本製品の仕様は予告なしに変更することがあります。



別売品・推奨品のご案内

弊社ではステレオヘッドセットで使用できる別買品として、以下の製品を取り扱っております。オプション品はお買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップロジテックダイレクトにてお求めください。

ロジテックダイレクト Web サイトアドレス : <http://www.logitech-direct.jp/>

別売品

- USB Bluetooth アダプタ (パソコン用 USB)

型番	内容
LBT-UA200C1	Bluetooth 2.0 + EDR 対応 USB アダプタ



9 お問い合わせについて

お問い合わせの前に…

- ① 本ユーザーズマニュアルを見て、接続の状態・注意事項をもう一度ご確認ください。接続先の機器により、特別な注意が必要な場合があります。
 - ② 弊社 Web サイト (<http://www.logitec.co.jp/>) では、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。
- ※ 問題が解決しない場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。FAX にてお問い合わせの際は、お客様のお名前、住所、電話番号、お問い合わせいただく製品名称、シリアル番号、故障の状態（なるべく詳しく）ご記入ください。

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL : 0570-022-022

FAX : 0570-033-034

受付時間 : 9 : 00 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 18 : 00 月曜日 ~ 金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

- ※ 携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX 共）、IP 電話（TEL、FAX 共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX 共）をご利用になれません。



修理について

- 修理依頼品については、下記に記す弊社修理受付窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店にご相談ください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
- 保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理品送付先

〒396-0192

長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423

FAX : 0265-74-1403

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）



修理ご依頼時の確認事項

- ・お送りいただく際の送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を修理依頼品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積り目の必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、修理依頼品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。
- ・弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- ・お送りいただく際の送付状控えは、大切に保管願います。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録、修理依頼、製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上、アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関や行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。



保証規定

■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理をいたします。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます、ソフトウェアなどの添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。

1. 本保証書の提示をいただけない場合
2. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。